

Contents

■特集 長浜・戦国大河ふるさと博	2～5P
■住基カード/市有地売却	6・7P
■暴力団排除条例・後期高齢者医療	8P
■防災	9P
■結婚しようよ	10P
■公共交通	11P
■ほっとにゆ～す	12・13P
■曳山まつり関係の募集など	14P
■支援金・補助金についてなど	15P
■市政の動き	16P
■市長コラム、年金、意見募集	17P
■健康/休日急患診療所移転	18・19P
■多文化共生、消費生活相談/文化財	20・21P
■インフォメーション	22P・23P
■裏表紙 ながはま百景、SMILE	24P

今月の表紙

第61回長浜盆梅展

長浜の春の風物詩、長浜盆梅展が今年も慶雲館で始まりました。
この盆梅展は、いつお越しいただいても見ごろを迎えた盆梅をご堪能いただけるよう、約300鉢の中から、開花時期に合わせて、随時およそ90鉢を入れ替えながら展示しています。
【開催期間】～3月11日(日) 9時～17時
※入館は16時30分まで

長浜盆梅展 夜間ライトアップ!
幻想的な雰囲気漂う極上の空間。
【期間】2月10日(金)～3月10日(土)
20時30分まで開催時間を延長
※入館は20時まで

第61回 長浜盆梅展

—夜間観覧割引券—

当券持参の人は、
夜間公開時間帯(17時～20時30分)
に限り半額で入場できます。

【有効期間】

2月10日(金)～3月10日(土)

※点線で切り取ってご持参ください。

盆梅展をご堪能いただいた後は、いよいよ始まる
長浜・戦国大河ふるさと博にご期待ください。

ふるさとを「知って」、「愛して」、「誇りを持って魅力を語る」・・・みんなの博覧会

「江・浅井三姉妹博覧会」から、「長浜・戦国大河ふるさと博」へ

平成23年1月15日から324日間、開催された「江・浅井三姉妹博覧会」。全国から約118万人もの人をお迎えして昨年12月4日に閉幕しました。合併後初の広域的な催しとなったこの博覧会は一体



感の醸成と新しいまちづくりの起爆剤となりました。多くの市民の皆さんが企画運営に携わってくださり、市民が主体となった取り組みや、「おもてなしの心」が成功につながったのではないのでしょうか。

市民一人ひとりが地域を改めて知り、この地域に誇りを持つことができたのではないかと思います。「江・浅井三姉妹博覧会」は閉幕しましたが、長浜市にゆかりのある武将は数多く、全国に誇れる

史跡も点在しています。今年はこのいったほんものの歴史的資産を活用して、前回の博覧会で育んだ地域への熱い想いを継続し、「長浜・戦国大河ふるさと博」を開催します。

長浜・戦国大河ふるさと博

3月24日(土)～12月2日(日) 開催



長浜・戦国大河ふるさと博は、「竹生島・長浜エリア」、「賤ヶ岳・木之本エリア」、「小谷・浅井エリア」の3つのエリアを設け、それぞれ「竹生島」「賤ヶ岳古戦場」「小谷城跡」といった戦国史跡を屋根のない博物館「戦国国野外博物館会場」とします。そこで各地域の語り部ガイドがその魅力を案内します。また、各エリアに「戦国大河館」や連携博物館を設置し、史跡や戦国武将を映像やジオラマなどで紹介します。

今回の博覧会で主体となって活躍くださるのは私たちの地域に自信と誇りを持ち、そして地域を愛されている皆さんです。さあ、いよいよ「江・浅井三姉妹博覧会」で育んだ市民力を花開かせるまちづくりのはじまりです。

竹生島・長浜エリア

■戦国のまち・ながはま会場

「石田三成と関ヶ原合戦」をメインテーマに、映像・衣装などで北近江・長浜の戦国史跡やゆかりの武将を紹介いたします。さらに長浜と大河ドラマ50作との関わりを紹介し、「戦国大河のふるさと」の魅力が満喫いただけます。

○曳山博物館

秀吉や光秀を主人公にした「絵本太功記」など「演じられた戦国」をテーマにドラマ衣装や歌舞伎装束、絵画資料などを実物展示します。

「平成の最大級 一木彫造り太閤秀吉坐像」や「平家物語の名場面」も必見です。



■竹生島野外博物館会場

古くから信仰され、国宝など数多くの文化財を有する竹生島を竹生島語り部ガイドの皆さんが案内します。

■竹生島クルーズ

運行期間：長浜港から毎日運行



長浜まちなか本陣 山内 敬さん

この博覧会は、「民」が主体となって開催し、市内の3つの会場で史跡などを紹介いたします。「ながはま館」では、「石田三成と関ヶ原合戦」を中心に史跡や武将を紹介いたします。お越しいただく皆さんを「ありがたうの感謝の気持ち」でお迎えし、その結果、皆さんが気持ち良くお帰りのいただけるような、温かい博覧会にしたいと思っています。

この取り組みが一過性のものとならないよう、今後、ここでできた仲間の輪を活かし、新たな長浜のまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。



竹生島語り部ガイド 氏原 建士さん

「江・浅井三姉妹博覧会」では、メイン3会場を結ぶ博覧会バスの中でガイドを行い、乗車いただいた皆さんに好評を得ました。お客さんとガイドの交流が図れて、また長浜の文化、歴史を理解いただくことができたと思っています。苦労もありましたが、その分達成感は大きかったです。

今回の博覧会では、竹生島とながはま会場をガイドします。ここでしか聞けない、見られないものについて話をしたいと思っています。戦国の歴史だけでなく、地域の民俗・風土も併せてガイドできればと思っています。決して自己満足に陥らないように、「おもてなしの心」を持ってガイドし、一人でも多くの人に長浜を好きになってもらえればと思います。